



平成19年1月16日

原子力安全対策室

担当者 長谷川

内線 1880 直通 0952-25-7081

E-mail:

hasegawa-sadamu@pref.saga.lg.jp

九州電力に対し早急な原因究明のための調査と万全な対策を要請しました

本日、九州電力から玄海原子力発電所2号機の配管に一部欠陥が見つかったとの連絡がありました。

県としては九州電力に対し、早急に原因究明のための調査を行い、対策に万全を期すよう要請したところです。

なお、県としても、本件による環境への影響はないと判断しております。

〔九州電力からの連絡内容〕

昨年11月14日から定期検査を実施中の、玄海原子力発電所2号機において、余剰抽出配管(1)の超音波探傷検査(2)を実施していたところ、配管の一部(曲がり部)に欠陥を示す有意な指示が認められた。

当該配管については、発電所において調査を行った後、当該部を切り出し、調査施設において詳細調査を実施する。

なお、環境への放射性物質の影響はない。

(1) 余剰抽出配管

一次冷却水の水質調整などのために、一次冷却系の主配管から分岐し、冷却水を一部抽出することを目的として設置された配管。

(2) 超音波探傷検査

検査対象部位に超音波を入射し、跳ね返ってくる反射波を検出することによって欠陥の有無を調べる検査。

玄海原子力発電所2号機 余剰抽出配管概要図

